

むつ市地域福祉計画中間評価及び見直し報告書（素案）に対する パブリックコメントの結果について

1 意見募集期間

令和3年12月10日（金）から令和4年1月10日（月）

2 意見提出者数及び意見件数

1人の方から1件の意見の提出がありました。

■提出状況

提出方法	人数
直接提出	
郵送	
ファックス	1人
E-mail	
合計	1人

■章別の件数

項目別	件数
第1章 中間評価にあたって	
第2章 地域福祉を取り巻く現状	
第3章 市民等意識調査結果概要	1件
第4章 評価結果と課題の整理	
第5章 今後の地域福祉計画	
第6章 資料	

3 提出された意見の概要及び意見に対する考え方

No.	意見の概要	考え方
1	<p>地域を担う人材の育成（施策1）について、「地域福祉学科を有する大学への派遣」を提案します。派遣対象者はむつ市在住の定年退職者、公務員（市役所職員、教諭、消防士）及び会社員として、年齢は定年退職者50～60代、公務員及び会社員は30代が適当と考えます。派遣要領はそれぞれの職種で異なると思いますが、可能な限り修士の取得（特に公務員）を目指せるような派遣体制を整えるべきと考えます。</p> <p>民間では、多くの企業が従業員の大学への派遣に取り組んでおり、その目的はリーダー人材の育成やイノベーションの促進等です。ゆえに、本提案は地域福祉を真に理解する人材が、官民の両方でリーダーシップを発揮し、多角的に地域福祉を充実させることを企図するものです。</p>	<p>地域を担う人材の育成につきましては、社会福祉関係の専門資格を取得するための派遣という御提案をいただいておりますことについて、令和4年度に当市に青森大学を開学する計画がございますことから、今後、大学、関係機関及び市民のニーズ調査等により必要に応じて、検討して行きたいと考えております。</p> <p>また、新たな福祉の担い手を育成するためには、地域活動及び教育機関等における福祉教育により、子どもの頃からの福祉意識の醸成に取り組むことも必要と考え取り組みを推進してまいります。</p>